

白金運輸株式会社

所在地：奥州市
業種：運輸業
労働者数：278名（男性242名、女性36名）
認定：平成26年くるみん取得



1. 子育て支援に関する取組方針

- 社員がその能力を十分に発揮しえる雇用環境を整えるとともに、次世代育成と希望ある家族生活支援について、「あなたよし、わたしよし、みんなよし」の経営理念の元、地域に貢献する企業となります。

2. 子育て支援に関する取組

(1) 制度

- 法を上回る制度
 - ・ 小学校就学前までの育児短時間勤務制度（平成22年7月施行）。
 - ・ 有給で3日間の配偶者出産休暇（平成29年5月施行）。

(2) 利用状況等

- 男性ドライバー2名が育児休業を取得。
- 女性の育児休業取得率及び復職率は100%。
- 育児短時間勤務制度の利用者1名、育児休業に引き続き取得。
- 配偶者出産休暇の利用者1名。
- 育児休業中の体制
 - ・ ドライバー、事務員、作業員とも、課内で病気等の突発的な休みや育児休業者が出た場合に業務を分担して対応できるように、仕事の内容を共有し、日常的に課内の同僚の業務をできるようにしている。総務と経理を一つとした体制に変更し、互いにカバーできるようにした。育児休業で長期の休業となる場合は、1か月前から作成した引継ぎ書をもとに引継ぎを行い、原職復帰できるよう課内の労働者で業務を分担するが、カバーできない場合は他部署からの異動による場合もある。課内の誰でも仕事ができ、安心して休める効果がある。
 - ・ また、ドライバー業務は全国の同業他社と連携しインターネットのサイトで空車情報を共有しており、急な休みに限らず必要な際には、自社の業務を他社に依頼したり、他社の業務を自社で受けることにより、互いに業務をカバーしている。

3. 労働時間等の働き方

- 所定外労働削減のための取組等
 - ・所定外労働はドライバーが比較的多いが、運転日報で労働時間を把握しており、点呼執務者や上司から時間外労働が目安時間を超えた労働者へ休憩を取るよう注意喚起し、ドライバーを交替するなど業務の調整を行っている。
 - ・ドライバーの時間外労働削減のための工夫として、次の取組を実施している。
 - ✦ 待機時間の短縮…積み下ろし時間が遅くなり、時間外労働になることがあったが、他のドライバーが交代して時間短縮に取り組んでいる。
 - ✦ 出発時間の調整…出発予定時間よりも早く出発するドライバーもいるので、なるべく予定時刻に出勤するように指導している。
 - ✦ 中継輸送による長距離から地場への変更…長距離輸送を、関東までで車を乗り換えて他社が担当し、関東から戻ってくるように変更した。
 - ・会社としても月1回、時間外労働の状況を把握し、指導したり業務の調整を図っている。
 - ・全社的に時間外労働にセーブをかけた結果、時間外労働は削減されている。
- 年次有給休暇取得促進のための取組
 - ・年次有給休暇について、全日休暇、半日休暇に加え、時間単位休暇取得を平成29年5月1日より可能とした。時間単位としてから、特に事務職は半数以上が取得、ドライバーは早番、遅番で調整、作業員も取得しており全社的に進んでいる。

4. その他の取組

- 子どもを交通事故から守るための活動として、月1回の会議における交通安全教育、毎朝会社前で「ライト早め点灯」「シートベルト着用」の看板を掲げる立哨活動を実施している。
- 女性の活躍…女性ドライバー4名が近距離運行で活躍中。女性の役職者は、係長1名、主任8名。また、ホームページに女性ドライバーや女性作業員の配置数を載せ、女性が活躍しやすい職場を目指していると掲載している。
- 若者の雇用を確保するため、昨年からはSNS（フェイスブック・インスタグラム）を活用し、会社の日々の情報を発信している。

5. 認定マークの活用法や効果

- ホームページに認定マークを掲載。
- 求人票の認定マークを見て応募してくる女性の求職者が増え、近距離輸送で1名だった女性ドライバーが4名と増加し、現在活躍している。

6. 認定企業として一言

- 認定企業として誰もが働きやすい環境をつくることで、男性、女性社員どちらも活躍できる環境づくりにつなげていきたいと考えております。

くるみん認定に係る主な達成状況（平成26年6月10日認定）

- ・ 男性2名が育休取得。女性の育休取得率100%。
- ・ 子供を交通事故から守るため、会社前で立哨活動を実施。